

明石市 第2期 SDGs 未来都市計画(素案) 全体概要

タイトル: SDGs未来安心都市・明石 ~いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで~

自治体名: 兵庫県明石市

全体計画の概要: 将来にわたり誰もが安心して住みたい、住み続けたいと思うまちの実現を目指し、①にぎわいと活力が持続するまち、②すべての人が助け合い安心して暮らせるまち、③人にも自然にも地球にもやさしいまちの3つの方向性のもと、温室効果ガス排出量の抑制、漁獲量の減少や出生数の減少等の課題解決に取り組む。

| 1. 将来ビジョン | 地域の実態 | 2030年のあるべき姿 |
|--|--|--|
| | <p>現状: 交通の高い利便性、若い世代の転入超過、気候非常事態宣言 課題: 温室効果ガス排出量の抑制、漁獲量の減少、地域コミュニティの希薄化、出生数の減少、待機児童、中小零細事業者・農漁業従事者の後継者不足</p> | <p>SDGs未来安心都市・明石~いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで~ (①にぎわいと活力が持続するまち、②すべての人が助け合い安心して暮らせるまち、③人にも自然にも地球にもやさしいまち)</p> |
| <p>2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール・ターゲット</p> | <p>経済: 8働きがいも経済成長も (ターゲット1~3, 5) 9産業と技術革新の基盤をつくろう (ターゲット2~5) 社会: 3すべての人に健康と福祉を (ターゲット2, 6, 8) 11住み続けられるまちづくりを (ターゲット2, 3, 7) 環境: 13気候変動に具体的な対策を (ターゲット1, 3) 14海の豊かさを守ろう (ターゲット1, 2, 4)</p> |  |

| 2. 自治体SDGsの推進に資する取組 | 自治体SDGsに資する取組 | 情報発信 | 普及展開性 |
|---------------------|--|--|---|
| | <p>① 豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める ② 笑顔あふれる共生社会をつくる ③ こどもの育ちをまちのみんなで支える ④ 安全・安心を支える生活基盤を強化する ⑤ まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す ⑥ 多様な主体とのパートナーシップによりSDGsを推進する</p> | <p>(域内) ・官民連携による普及啓発 ・広報あかし、市WEBサイト等を活用した周知啓発 ・出前講座の実施 (域外) ・広域連携を活用した情報発信</p> | <p>・人口減少の抑制に向けて、子育てを社会全体で支える取組や、誰もが安心して暮らせる環境を地域での支え合いのもとで整える取組は、多くの自治体に展開可能な施策 ・本市の取組の多くは、特別な資源を要するものではないことから、他の自治体にも展開可能な内容</p> |

| 3. 推進体制 | 各種計画への反映 | 行政体内部の執行体制 | ステークホルダーとの連携 |
|------------------|--|--|--|
| | <p>・SDGsを基軸に据えた「あかしSDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)」を策定 ・2022年に策定した環境基本計画へ反映 ・その他の個別計画も改定時に反映</p> | <p>・あかしSDGs推進審議会(学識経験者、関係団体、公募市民等で構成、毎年度の進捗状況の評価について意見聴取・審議) ・SDGs庁内推進会議(各局の総合調整、分野横断的な連携)</p> | <p>・JR西日本、山陽電鉄(ユニバーサルデザインのまちづくり、事業者のユニバーサル対応等) ・生活協同組合コープこうべ(地域課題の解決やSDGsの取組の推進) ・明石商工会議所、市内金融機関(官民連携による地域事業者支援)</p> |
| <p>自律的好循環の形成</p> | <p>・SDGsに取り組む地域事業者の登録制度及び助成金制度 地域におけるSDGsの達成に向けた取組の推進及び地域課題の解決を図るとともに、SDGsの普及・啓発を行う。研修会や交流会、表彰制度も行う予定。</p> | | |